

令和5年度 学校関係者評価書

学校園名 附属小金井小学校

I 学校関係者による評価

領域	学校関係者による評価と今後の課題
<p>学校運営</p>	<p>【重点：いじめ防止等への取り組みの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いじめの発生に当たっては、関係職員の情報共有や組織的対応について改善をすすめ、一定の成果を上げているとのこと、大変結構なことと敬意を表する次第です。保護者アンケートでも「児童は学校が好きで楽しく登校している」との評価が3.55と高い数値を示していることはその証左でありましょう。ただし、生徒指導力は、個々の教員の経験等により、較差があるのが現実です。中核教員のもつ指導理念や指導技術が、若い教員に上手に伝達されることが大事です。今後も引き続き、指導組織や段階的な指導手順等の改善に留意しながら、重点的に取り組まれることを期待しております。今年度は「初期指導」「組織的対応」について成果を上げたとのことですので、次の課題として「事後指導の徹底」つまりいじめが終息した後の「関係改善(仲直り)の見守りの確認」という段階での指導の充実を期待しております。 ●いじめ対策ではスピード感を重視し早い対応ができるよう、職員を総動員したうえで最小限度の人数で対応するなど、これまでの硬直化した対応から、一歩進んだ実効性のある対策が取られていることは高く評価したいと思います。一人ひとりの居場所についても、子どもを守るだけでなく、自発性と個性を伸ばす教育によって、各人がなんらかの得意分野で自分に自信を持たせることが大切だと感じます。 ●いじめ防止対策委員会が迅速に対応してくださることは大きな安心感です。いじめは深刻になる前に防ぐ事が大切です。それは前提として、いじめともめごとの違いを保護者もよく理解していきたいです。保護者会等では、成長過程にある子どもとの関わり方についてお話をくださるので、気付かされることも多くとてもありがたいです。保護者が介入して、子どもが経験すべき人間関係を奪わないようにしたいです。「いじめはダメ」の側面だけではなく、本来人間関係は複雑であり、それを体験しながら学ぶ場が学校であることを保護者として認識し見守っていただけると良いです。 ●管理職を中心に、全教職員が学校運営方針をしっかりと共有し、順調に教育活動が実施されている様子が、訪問するたびにうかがえることは、誠に喜ばしいことです。教員や児童のみならず、栄養教諭、事務職員、用務員の方、皆様の雰囲気がとてもいいです。
<p>教育活動</p>	<p>【重点：宿泊生活の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「一人一人に居場所があり、互いの良さを認め合える集団づくり」という指導目標がもっとも具現化されるのは、学校行事にほかなりません。学校行事こそは、学習指導、生活指導に続く重要な教育活動だと考えます。今年度、貴校の伝統行事である林間学校が通常の形態に戻り、貴重な体験活動が行われたことは大変良かったと思います。4年間のブランクがあったとはいえ、これまでに構築された優れた実践方法を生かしつつも、「児童全員がより主体的に参画し、実践に取り組む活動」や「児童全員が、過不足なく責任を果たす充実した役割分担」等、さらなる改善・充実をめざして取り組みが行われることを期待しております。 ●宿泊生活の完全復活も子どもたちの大きな成長を感じました。帰宅した子どもの話から、友達と協力した様子がよく伝わってきました。先を見通して生活していたことも本人が自信を持って話してくれました。宿泊生活を迎えるに当たって、日々の学校生活で先を見通すことを先生方が常に声を掛けてくださっていることと存じます。日々ご指導いただいていたことについて、24時間親の手助けがない状況に身を置く事で子どもなりに体感したのではないかと思います。 ●コロナ禍が過ぎ、授業や行事が回復する中、間が空いてしまってノウハウや経験の継承が難しくなっている現状があるようですが、リスク回避の観点からも、事例や対策をよく共有して万全を期していただきたいと思います。宿泊生活による体験は、他に変えられない貴重な社会性の教育の場だと思いますので、大変でしょうが是非継承していただきたい。 ●非常事態も含めて、先生方の負担は増える一方だと思います。行事などについては、あらかじめ外部のボランティアの協力者を審査、登録しておくなどして、応援を得られないでしょうか。新しい運営の試みが生まれてくる可能性もあるかもしれません。

<p>教育活動</p>	<p>【学習指導、ICT 活用の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●どの教室を見ても、児童が落ち着き、かつ意欲的に授業に取り組んでおり、大変素晴らしいと常々感服しております。また、教員も児童一人一人を大切にしながら授業を進めていることがよく分かります。今後も自信をもって優れた授業実践に取り組まれることを願っております。ただし、生徒指導と同様、学習指導力についても、個々の教員の力量には較差があることは否定できない現実です。 ●授業開始時における学習課題認識の徹底、知的好奇心を刺激する発問、分かりやすい板書、児童の思考のスピードにあった展開、児童の活動と教師の説明との量的バランス、モニター及びタブレット等の効果的・効率的な活用、笑顔やユーモア等の魅力的な人間性等、授業力の向上を目指して日々研鑽を積むことは、すべての授業者にとっての責務だと考えます。大学の附属小学校の教師として、教育界の先端をいく皆様のご努力に期待しております。 ●Teams を日頃から活用していることで、大雪の日など急な事態においてもスムーズにオンライン授業ができることは、素晴らしいことだと思いました。日頃から学校生活の一部として使用しているからであると理解しています。タブレット端末が筆記用具の一部であるだけでなく、人と繋がる道具として、マナーやルールも身につけ使いこなせています。年齢が上がるにつれ、使い方や外の世界の繋がり方も多様になっていくと思うので、大人はいつも見守って適切に声掛けしていくことが必要だと感じました。情報も簡単に得ることができますが、その先を考えるよう先生方が声掛けしてくださる事もありがたいです。反面、小学生はまだ発達の著しい時期であることを踏まえ、手で鉛筆を持って書くことや消しゴムで消すことなど、経験してほしいことでもあると感じています。友達の書いたものを見て、その文字や表現方法など、刺激や影響を受ける面もあると思います。両方の良さをバランスよく取り入れられないかと感じました。
<p>研究活動</p>	<p>【重点：研究成果の積極的発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学の附属小学校こそは、一般の公立・私立学校の教員を啓発する優れた授業実践が行われるべきと、常々期待しているところです。だからこそ貴校には、その資質・能力が高く研究意欲の旺盛な教員が集められていると認識しております。その意味で、今年度の公開授業研究会への参加者が大幅に増加し、600 名を超えたことは大変有意義なことだと高く評価する次第です。昨今、インターネットでは、全国の優れた授業実践者が、ブログやYouTubeなどの方法で「大変簡潔で分かりやすく」「意外な発想で」「すぐに真似ができそうな」「児童・生徒が夢中になりそうで」「煩雑な教材の作成や準備が不要な」等のアイデアたっぷりの授業の方法を発信しています。貴校の先生方が彼らに負けない魅力的な提案をされることを期待しております。
<p>学生の教育・支援活動</p>	<p>【重点：学生ボランティアの受け入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学新設授業科目の学部1年生のボランティア応募が全くなかったとのこと、残念でした。教員希望の学生さんが、早い段階で教員の仕事の魅力を実感できるような機会に出会えることを願っています。そのためにも、大学側に対して、学校現場から有効な提言をしていくことが大切だと思います。提言の例として、①ボランティア募集案内に、お兄さんやお姉さんと一緒に行事に取り組みたいという児童の手紙や招待状を添付する。②大学の説明会に、児童会の役員が出向き、直接説明する等。 ●学部1年生を対象としたボランティアは非常に良い取り組みだと思いました。授業の兼ね合いが難しいとのことでしたので、その時の授業は配信等で後から視聴できるなど、大学であればいくらかでもカバーする方法はあるのではないかと思います。せっかく教職を志したにもかかわらず、卒業までに気持ちが変わってしまう方が多いことは非常に残念です。附属学校の保護者として、教育実習生が職業として先生になることを後押しできることがあれば力になりたいと感じています。全附P連の事例紹介では、学生から「保護者対応が怖くて教員になりたいくない」との声を受け、PTA 保護者と実習生の対談会をしたところ、参加した実習生は全員教員になったと伺いました。 ●学生ボランティアについては、学部1年生は日程などがうまく合わず、応募がなかったようですが、希望する学生は潜在的に相当数いると思われます。参加項目の枠を広げるなどして、教員を目指す学生のモチベーションの向上につなげていただきたいと思います。

<p>社会貢献活動</p>	<p>【重点：外部研究会への講師の派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小金井市立小学校との連携や貢献活動は、双方にとって、誠に有意義であると考えます。ご苦労も多いことと存じますが、今後も継続されることを期待しております。 ●小金井市教育委員会と連携して進めた「教員研修の高度化に資するモデル開発事業」について、AI による授業の解析は非常に興味深いです。授業の質・内容までもがデータ化できることに驚きました。授業解析がされていることも存じ上げませんでしたので、日々の授業は先生方が長い時間をかけて研究が続けられてきたことの結果であることを実感しました。先生方の研究熱心な姿もまた、子どもたちに良い刺激になっていると感じます。
---------------	---

2 評価の実施概要

●2023年6月27日 第1回学校評議員会

昨年度の自己評価書及び学校関係者評価結果の説明、今年度の学校経営計画重点目標と具体的取組及びいじめ防止基本方針の説明

●2023年10月4日 第2回学校評議員会

委員による授業や教育実習の参観、施設・設備の観察、校長・副校長や児童との対話、重点目標やその取組状況の説明

●2024年2月21日 第3回学校評議員会

自己評価の結果の説明、学校関係者評価委員からの評価

●2024年3月21日 学校関係者評価委員会(書面会議)

3 学校関係者委員会委員、開催日

●委員：学校評議員6名、保護者と教師の会学校役員幹事（本校児童の保護者）1名

●開催日：2024年3月21日